

令和7年度 学校図書館活用計画・評価シート

足立区立桜花小学校 校長 藤井 基人

1 学校教育目標

生涯にわたる実現を目指す自立した人格・人権尊重と公共の精神に富み、よりよい社会の形成に主体的に参画する国民・我が国の伝統と文化を基盤として国際社会の発展に寄与することのできる知・徳・体の調和した児童を育成する。

- ①よく考える子 ②思いやりのある子 ③たくましい子

2 現状の学校図書館の課題

- ① 図書館が普通教室から離れた場所にある。
 ② 図書館の割り当て時間を時間講師が担当しているため、使いたいときに使えないことがある。
 ③ 低学年はよく図書館を利用し読書量も多いが、学年が上がるにつれ利用率が減っている。
 ④ 学校図書館が2部屋に分かれていて、学習センターとして活用しにくい。

3 今年度の学校図書館の目標

- ① 児童が多くの本に出会い、親しみ、読む量とともに質の向上を図る。
 ② 各教科の授業等で図書館の活用の機会を増やす。

4 今年度の重点取組

- ① 情報センター、学習センターとしても活用できるよう書架の入れ替えなどの整備に取り組む。
 ② 学校図書館を活用して取り組む学習の年間指導計画を立て、毎月の学習計画に基づいた関連図書への提示や、不足している分野の資料整備に図書館支援員と連携して取り組む。
 ③ 表彰や掲示などで読書に対する児童の意欲を高め、読書の量および質の向上を図る。

5 教科等における年間指導計画（対象学年は○数字で記載）

教科	内容（学校図書館を活用して取り組む単元等）
国語	① おはなしききたいな、としょかんへいこう、としょかんとなかよし じどう車ずかんをつくろう、どうぶつの赤ちゃん ② 図書館たんけん、いなばの白うさぎ、お気に入りの本をしょうかいしよう、お手紙、せかいーの話、みきのたからもの、ロボット ③ 図書館たんていだん、本で知ったことをクイズにしよう、すがたを変える大豆、食べ物のひみつを教えます、モチモチの木、本の世界を広げよう ④ 図書館の達人になろう、本のポップや帯を作ろう、工芸品のみりよくを伝えよう、友情のかべ新聞、もしものときにそなえよう、自分だけの詩集を作ろう ⑤ 図書館を使いこなそう、みんなが使いやすいデザイン、方言と共通語、固有種が教えてくれること、あなたはどうか考える、子ども未来科で何をする ⑥ デジタル機器と私たち、私は本、発見 日本文化のみりよく、ぼくのブック・ウーマン、おすすめパンフレットを作ろう、詩を朗読してしょうかいしよう、知ってほしい この名言
社会	③ 足立区のように ④ 東京都の様子 ⑤ さまざまな土地の暮らし、自然災害から人々を守る ⑥ 日本のあゆみ、世界のなかの日本とわたしたち、
理科	③ 生き物のすがた、植物の育ち方・体のつくり、こん虫のかんさつ ④ 動物のからだのつくりと運動、月や星の見え方（夏の星、冬の星） ⑤ 台風と天気の変化、理科とSDGs ⑥ 地球に生きる

5 教科等における年間指導計画（対象学年は○数字で記載）

生活科	①きせつとなかよし はる・なつ・あき・ふゆ、いきものをさがそう ②「生き物クイズ」を作ろう
図工	①のってみたいないきたいな（図鑑で乗り物調べ） ②絵本を読んで絵をかこう（絵本の場面の絵を想像して描く） ③紙版画（図鑑などでモチーフ探し） ④まぼろしの花（植物図鑑で花の書類調べ） ⑤パズルをつくろう（図鑑などでモチーフ探し） ⑥絵文字をつくろう（国語、漢和辞典で漢字調べ）
家庭科	⑤⑥作品のデザインの参考にする。
外国語・ 外国語活動	③④外国語の絵本の読み聞かせを聞く。 ⑤身の回りのものの言い方を調べる。 ⑥世界の国について調べ、外国語で紹介する。

実践の評価

6 図書館運営計画

(1) 日常的な取り組み

- ① 読書通帳を利用した読書の推進を図る。
- ② 年間指導計画や毎月の学習計画に基づき、関連図書を収集し提示する。
- ③ 国語科の授業において並行読書できるように、教科書掲載図書および関連図書を収集し提示する。

(2) 主な行事の取り組み

- ①読書週間年2回 ②本の福袋作成

(3) 図書委員会などの取り組み

- ①休み時間に図書館において貸出・返却の処理を行う。
②読書クイズ ③おすすめの本紹介コーナー ④本の福袋作成 ④低学年への読み聞かせ

(4) 環境整備の取り組み

- ①夏期休業中に書架の入れ替えを行い、学習に取り組みやすいよう環境整備に取り組む。
②4類の請求記号を3桁に統一し、分類の理解を深める。
③購入分を分類ごとに配架したり、古くなった資料を除籍したりして、図書館内の資料の更新をはかる。

(5) 司書・外部との連携

- ①給食の時間に放送による読み語りを実施する。
②展示や掲示を工夫し、利用しやすい図書館作りをすすめる。
③教員と共通理解を図る機会を確保し、資料の準備をより充実させる。

実践の評価

7	学校図書館利活用に関する成果目標	達成基準	達成状況
①	学年に応じて図書館の仕組みを指導し、様々な分野の本や資料を探したり、読んだりできるようにさせる。	児童の平均貸出冊数 月 2 冊	
②	学年に応じて自ら問いをもち、インターネットや図書、新聞など、複数の情報を活用して学習できるようにさせる。	全学年で I C T と図書を併用した調べ学習を実施	
③	図書館年間指導計画に合わせ、各教科の授業で図書館を活用した学習を展開する。	授業で図書資料を活用した教員の割合 8 0 %	

8 学校図書館全体に関する自己評価